



ほけんだより



まだまだ残暑の厳しい日が続きますが、朝夕の涼しい風に秋の気配を感じるようになりました。この時期は夏の疲れが出て体調を崩すことがあります。子どもたちが健康に過ごせるように生活リズムを整えていきましょう。



9月1日は防災の日。1923年に関東大震災が発生した日です。大震災での教訓を忘れないようにするため、そして台風に備えるために制定されました。

園でも毎月避難訓練を行っています。ご家庭でも防災グッズのチェックや避難経路・場所の確認等を行い、もしもの時に備えましょう！

非常時の 持ち出し品の準備



非常時の持ち物をリュックなどにつめておきましょう

避難する場所



避難場所がどこなのか、そこまでの経路を確認しておきましょう

地震で倒れやすい 物はないか



棚の上に置いてある物は下ろし、倒れそうな物は固定するなどの工夫をしましょう

もしもの時の待ち合わせ場所や緊急連絡先はいつも身に付けるようにしましょう

家族との連絡方法

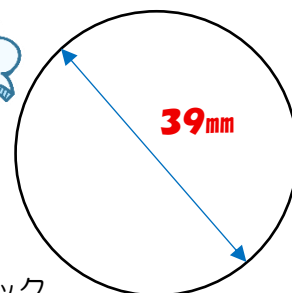


家の中の事故を防ぎましょう！

子どもにとって安心して過ごせる家の中が、じつは事故の危険の高い場所だということを知っていますか？0～6歳の子どもの事故の約40%は、家の中で起こっています。

家の中で起こる事故はさまざまですが、特に命に関わるのが、窒息です。0歳児が圧倒的に多いものの、1歳児・2歳児でもゼロではありません。4cm未満の小さなものを子どもの周りに置かないなど、家の中を安全・安心な場所にするための環境が整っているか、もう一度チェックしましょう。

3歳児の
口の大きさ



キッチン	ベランダ	浴室	リビング
調理器具によるけがややけど	落下事故につながる	水の事故の危険がある	落下や誤飲の事故が多い

9月9日は

救急の日



救急の日は、『救急について関心や理解を深めよう』という日です。秋に入り過ごしやすい気候になると、外遊びをする機会が増えてきます。外遊びが増えると怪我をすることも多くなると思います。ご自宅でも1年に1度は救急セット・救急箱の中身をチェックしてみましょう。



救急箱の中身、
チェックしてますか？

CHECK!

☐ 絆創膏

けがをした部位に合わせて
選べるよう、形やサイズをい
くつか用意しておくとう便利。



☐ はさみ

救急箱専用にし
ておくとう衛生的で
安心です。



☐ 体温計



☐ ガーゼと
医療用テープ

傷口を保護したり、薬を
塗った上にかぶせたりして
使います。傷包装の滅菌タ
イプが使いやすいでしょう。



☐ 毛抜きや
ピンセット

皮膚に刺さったと
げを抜いたりするの
に使います。



☐ 常備薬

(虫よけ、
かゆみ止め、
化のう止めなど)



●使用期限の確認
●物品の補充
も忘れずに！



やけど



水道の水で痛くなくなる
まで冷やします。この時、
服の上から水をかけるよう
にしましょう。無理に服を
脱がせると、皮膚がはがれ
てしまう恐れがあります。

打撲



氷嚢をあてて冷やします。
感覚がなくなってきたら
一旦お休みします。

切り傷



清潔なガーゼ(なければタ
オルなど)を傷口に当てて
ぎゅっと押さえます。

鼻血



小鼻をつまんで、少しく
つむきます。上を向くと鼻血
が喉に垂れ込んでしまうた
めやめましょう。

こんな時、どうする？

擦り傷



水道の水で汚れを洗い流し
ます。手でこすると傷口が
炎症・感染を起こすため優
しく洗いましょう。

目にゴミが
入った



目はこすらず、水や目薬
で洗い流しましょう。異物
が取れない・みつからない
場合は無理には取らず病院
を受診しましょう。



れんらく

- 手足口病が流行しています。発熱、手の平・足の裏・口腔内に水泡を伴う発疹等感染症状がみられる場合にはお早めに診察をお受けください。また、受診後は診断結果を園にご連絡いただくよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。
- 園で症状が出現した場合、感染拡大防止の観点から速やかにご連絡させていただく場合がございます。お仕事のご都合がつか次第、お迎えに来ていただけますと幸いです。
- 9月下旬は肌寒くなる日があるため、長袖のストックをご準備いただければと存じます。

急な怪我や病気で迷った時は
『かながわ救急相談センター』へ
相談してみましょう！



シャープ # 7 1 1 9

電話から または 045-232-7119 年中無休 24時間対応
045-523-7119

※ダイヤル回線・IP電話からは、045から始まる番号をご利用ください

今すぐを受診すべきか
救急車を呼ぶべきか

1

番を選択

救急受診できる
病院・診療所を知りたい

2

番を選択